

ヴァレリオ・ナダミ「幸福な鳥々／牧歌」1984年作

新 展 ギャラリー

市美術館所蔵品から

市美術館では、「現代版画の展覧会」(以下、「パウル・クレール展」)のあと、今年もユニークな企画展を予定しています。とらで現在市美術館が所蔵している作品数は三百九十七点、国内・国外の著名な作家がたぐささんあります。ひとくに美術といっても、絵画、彫刻、工芸など幅広い分野があり、一つ一つの作品には作家の思想、技法、材質、題名などさまざまなヒントがあります。市美術館の所蔵品の中から、新春にふさわしい作品を紹介いたします。

■アダム(一九三五)は、ポストカードや漫画など大衆文化のイメージを變形して、風刺とユーモアに満ちた作品を描くイタリアの現代作家です。「幸福な鳥々／牧歌」は市美術館が所蔵する絵画の中で一番大きい作品(四〇×五〇センチ)です。この大作で、アダムは平和を表すオリーブの木や神話風の人物を、太い輪郭線と大胆な色面で描き、今日の牧歌ともいうべきおどろかたで、不思議な画面を造り上げています。

代表作にパリ国立近代美術館所蔵の「大陸風室内」があります。長谷川 潔(一九二一—一九八〇)は、日本を代表する版画家です。一九一八年にフランスへ渡り、その後一度も帰国することなく、パリで制作を続けました。

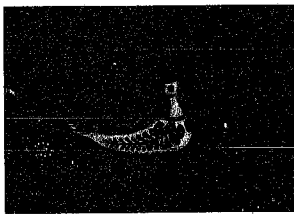
一九三五年にレジオン・ドヌール勲章、一九六六年にはフランス文化勲章を受賞するなど数々の栄誉を受けました。また、一九七〇年、フランス国立貨幣鑄造局で北条藤田嗣治に続き日本人として三人目の肖像メダルが鑄造されました。「メキシコの鳩」は、一つの素材が靈感を受けたかのように決定的な位置を占め、意味深い象徴として、私たち

に深い興味と神秘をもたらしています。なお、一九五二年、パリのルーヴル美術館が、彼の作品「コップに挿した春草」を買上げ所蔵しました。菅井 汲(一九一九)は、東京芸術大学卒業後、ハブニング、木や石の一部だけを加えた「単体シリーズ」など、既成の表現形式にこだわらない仕事を続け、一九六〇年以降の美術界の代表的存在になられました。「雲の波、そして天の浮き橋」は、古事記をテーマにした「園生み」という絵本のイラストとして制作された作品の一つです。

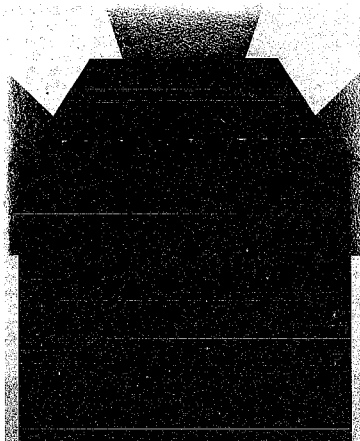
■池田満寿夫(一九二四)は、高校を卒業して上京し、油絵を描いていましたが、その後、版面に転向。一九六〇年に第一回東京国際版画ビエンナーレ展で受賞し、一九六六年には「天使の靴」でヴェネチア・ビエンナーレ展の国際版画大賞を受賞するなど、国内外の美術界で高い評価を受けています。「天使の靴」は、黒、赤、黄、青という明快な色面が中央にあり、その上に、天使の靴がちよんとのこっています。そして、そのまわりに、気まぐれな線で子供の落書きを思わせる動物の図柄が描かれ、ユ・モラスな作品となっています。

池田満寿夫は一九七七年、小説「エーゲ海に捧ぐ」で第七十七回芥川賞を受賞。そして、同名の映画を監督して話題を呼びました。

赤で、自然界の息吹が明快に表現され、都市文明の中で生き抜こうとする自然人、菅井の清新な欲望が息づいていきます。代表作は東京国立近代美術館の壁面「フェスティバル・ド・トーキー」などです。■高松次郎(一九三六)は東京芸術大学卒業後、ハブニング、木や石の一部だけを加えた「単体シリーズ」など、既成の表現形式にこだわらない仕事を続け、一九六〇年以降の美術界の代表的存在になられました。「雲の波、そして天の浮き橋」は、古事記をテーマにした「園生み」という絵本のイラストとして制作された作品の一つです。



長谷川 潔「メキシコの鳩」1966年作



菅井 汲「太陽の森」1967年作



池田満寿夫「天使の靴」1963年作



高松次郎「雲の波、そして天の浮き橋」1984年作

謹 賀 新 年

昭和六十一年 元旦

新潟市議会議員
市民クラブ

議長

社会党 市民連合
副議長

共産党 議員団

公明党 議員団

民社党 議員団

無 所 属

新潟市美術館
西大畑町五一九一九
☎ 23-11633

- 佐早渡石田島真新古土佐淵今洪山佐須内小服細滝羽山阿大黒田川小水波松野伊藤藤若川橋伊齋仁丸高氏小大平村
- 木福辺垣中田島保川屋木田井谷野田田林野沢田部和田村島石野辺原沢藤卷林島本藤藤多見山野田山野田山
- 繁義正 利博俊 ヨ明修誠 洵 信 正秀武 央吉 重光幸 悼藤 寛 仁キ忠 定一富 徳 勇一
- 茂卓慎茂英雄樹久信英夫 一治 一清子進吾博雄男雄一男正清信夫作夫衛郎実郎 一ノ藏勝仁稔彦保一進一久甚郎